

1 財政の動向及び本市における行財政運営について

我が国経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しています。各種政策の効果により、今後も景気が持ち直していくことが期待されますが、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れや物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

令和4年度の地方財政においては、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入等は増加見込みであるものの、通常収支に係る財源不足は、依然として高い水準で推移しております。

こうした状況を踏まえ、令和4年度の本市における行財政運営は、第6次総合振興計画の将来都市像である「笑顔でつなぐ躍動のまち、さかど」の実現を目指し、各種事業を着実に推進するため、基本理念である「参加と協働」、「健康と安心」、「環境との共生」を3本の柱に据え、重点施策の推進に努めてまいりました。

また、今後、扶助費の増加や、公共施設の老朽化に伴う維持や更新に係る投資的経費の増加が見込まれることなど、本市の抱える財政課題を念頭に置き、経費全般の事務事業の見直しを進め、健全な財政運営に努めてまいりました。

2 予算に対する収入及び支出の状況について

令和5年3月31日現在における一般会計及び各特別会計の状況は、別紙のとおりです。